

令和3年高島市教育委員会第10回定例会

【 会 議 録 】

令和3年10月27日

令和3年高島市教育委員会第10回定例会会議録目次

(令和3年10月27日)

出席委員・出席事務局職員	1
提出議案の題目	1
議事日程	2

(議事の経過)

日程第1 議第58号 高島市道徳教育推進協議会委員の委嘱等について...	4
日程第2 議第59号 高島市教育財産管理規則の一部を改正する規則案...	5
日程第3 議第60号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価結果報告書案	6

令和3年高島市教育委員会第10回定例会会議録	
招集年月日	令和3年10月27日
招集の場所	高島市役所 新館2階 教育委員会室
開会	午前9時30分
教育長	上原 重治
教育委員会委員	小多 偕裕 三矢 艶子 田邊 栄美子
教育委員会 事務局職員	教育総務部長 日置 武司 教育指導部長 川島 浩之 教育総務部次長 (教育総務課長取扱) 饗庭 眞二 (高島市民会館長取扱) 山本 純子 社会教育課長 小川 祥枝 文化財課長 横井川 博之 市民スポーツ課長 玉木 健史 国スポ・障スポ大会推進課長 野崎 良樹 図書館長 柳森 和人 学校教育課長 饗庭 一弥 学事施設課長 山本 一郎 学校給食課長 長瀬 千恵美 教育総務課参事 上原 真哉 教育総務課主事 末綱 美都
提出議案の題目	1. 高島市道徳教育推進協議会委員の委嘱等について 2. 高島市教育財産管理規則の一部を改正する規則案 3. 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価結果報告書案
委員提出議案の題目	なし
会議録署名委員	本定例会の会議録署名委員は次の委員とした。 三矢 艶子 委員 田邊 栄美子 委員
閉会	午前10時19分

議事日程

令和3年10月27日（水）

午前9時30分 開会

第1 開会（挨拶）

第2 令和3年第9回定例会会議録の承認

第3 会議録署名委員の指名

第4 議事

日程第1 議第58号 高島市道徳教育推進協議会委員の委嘱等について

日程第2 議第59号 高島市教育財産管理規則の一部を改正する規則案

日程第3 議第60号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書案

第5 今後の日程

議 事 の 経 過

開 会 （午前9時30分）

（饗庭教育総務部次長）

定刻となりましたので、ただいまから、令和3年高島市教育委員会第10回定例会を始めます。

それでは、開会にあたりまして、上原教育長からご挨拶をいただいたのち、議事日程により、会議の進行をお願いします。

（教育長あいさつ）

改めまして、みなさん、おはようございます。

二十四節気の霜降、風がいつそう冷たく感じられ、霜が降りる頃となりました。暦の上では、秋の最後の節気となり、朝晩は気温がぐっと下がって、寒く感じるようになりました。今年の霜降の日、10月23日には、大阪管区气象台が、近畿地方で木枯らし1号が吹いたと発表しました。記録が残る1955年以降で最も早い木枯らし1号となったそうです。このような話を聞くと、ますます冬の到来を身近に感じます。

その10月23日には、高島高校と安曇川高校の合同学校説明会が高島市民会館で開かれました。今年の合同学校説明会は、県教育委員会と市教育委員会が共催で実施し、高島高校に新設された文理探究科や、安曇川高校のライフサポート系列を含む5つの系列のある総合学科の概要が説明されました。中学生やその保護者に皆さん、そして地域の皆さんに参加していただき、両校の魅力を知らせていただく機会となり、意義ある学校説明会となったと感じています。高島の地で、一人ひとりのキャリア形成がかなう高校教育の環境を整えていただき、その教育環境に身を置き、好奇心をもって学んでほしいと願っています。

さて、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が解除されて、約1か月が経ちました。学校では、感染症対策を踏まえた上で、運動会や体育祭、修学旅行をはじめとした校外活動が再開されています。子どもたちの活気に満ちた明るい笑顔が戻ってきたように感じます。また、社会教育施設においても、これまで使用制限をしておりましたが、それを撤廃し、使用者自らが感染症対策を徹底した上で、使用していただくこととしました。第6波も危惧されていますが、子どもたちの学校教育活動や市民の社会教育活動を止めない方策を検討していくことが重要であります。

話は変わりますが、市内小中学校では、今年度タブレット端末を使った授業が進み、カメラ機能や録音機能を使った学習記録の活用や、インターネット検索を活用したプレゼンテーションの作成、授業支援システムならびに遠隔会議システ

ムを使った授業の工夫など、ICTを効果的に活用した授業実践が行われており、もはやタブレット端末を筆記用具のような身近な道具として使用するようになり、学校の授業風景は一変しています。

また、マキノ中学校区では、本年度と来年度の2年間にわたって、文部科学省の道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の指定研究を受け、研究を進めています。来る11月8日には、文部科学省から教科調査官にお越しいただき指導をしていただくこととなっています。

教育委員の皆様には、今後、市内における学校の教育活動や研究発表会を研修の機会としてご案内させていただきたいと考えております。

本日は、議事案件が3件となっていますが、何とぞ、慎重審議を賜りますようお願い申し上げます。令和3年高島市教育委員会第10回定例会の開会に当たりましての、挨拶とさせていただきます。

続きまして、令和3年第9回定例会会議録の承認についてお諮りします。

9月29日に開会いたしました令和3年第9回定例会の会議録につきましては、お手元に配付したとおり作成することとし、高島市教育委員会会議規則第16条第3項の規定に基づき、これを公表することに異議はありませんか。

(異議なし)

(上原教育長)

異議がないようですので、令和3年第9回定例会会議録は、承認を受けたものとして、公表します。

続きまして、会議録署名委員を指名します。三矢委員、田邊委員、よろしくお願ひします。

それではこれより、議事に入ります。

まず、日程第1 議第58号 高島市道徳教育推進協議会委員の委嘱等について、を議題とします。

本議案に係る職員は退席してください。

(関係職員退席)

(上原教育長)

饗庭学校教育課長。

(饗庭学校教育課長)

それではご説明させていただきます。1ページをご覧ください。議第58号

高島市道徳教育推進協議会委員の委嘱等について でございます。

本議案は、高島市道徳教育推進協議会設置要綱第3条の規定に基づき、高島市道徳教育推進協議会委員に次の者を委嘱または任命することにつき、議決を求めるものです。

2ページの表のとおり、第1号学識経験者1名、第2号小中学校児童生徒の保護者2名、第4号関係行政機関の職員1名、第5号その他教育長が必要と認める者2名の合計6名を委嘱し、第3号教育関係者5名を任命するものでございます。

任期は令和3年11月1日から令和4年3月31日まででございます。

委嘱または任命する委員11名ともに、現在マキノ中学校区で取り組んでいる、道徳教育および道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業推進校の研究のより一層の推進を図るため、専門的な見地やそれぞれの立場から助言や意見をいただくこととなります。

以上でございます。

(上原教育長)

ご意見、ご質問がございましたら、よろしく申し上げます。ございませんか。ないようですので、異議なしということによろしいですか。

(異議なし)

(上原教育長)

異議がありませんので、議第58号は原案のとおり可決しました。

退席した職員は、着席してください。

続きまして、日程第2 議第59号 高島市教育財産管理規則の一部を改正する規則案、を議題とします。饗庭教育総務部次長。

(饗庭教育総務部次長)

失礼いたします。3ページをご覧ください。議第59号 高島市教育財産管理規則の一部を改正する規則案について、ご説明申し上げます。

本件は、高島市教育財産管理規則の一部を改正しようとするものでございます。

改正内容は、高島市教育財産の使用許可に関する基準等につきまして、高島市財産規則に準じた規定に改正するものでございます。

また、高島市教育委員会申請書等の押印の省略に関する規則に基づき、本年6月1日からは、高島市教育財産管理規則の規定にかかわらず、申請書における押印につきましては、記名または署名により省略することとしていますので、この改正の機会にあわせまして、すべての様式中の押印部分を削除する改正を行うも

のでございます。

説明は、以上でございます。

(上原教育長)

ご意見、ご質問がございましたら、よろしくお願いします。ございませんか。ないようですので、異議なしということによろしいですか。

(異議なし)

(上原教育長)

異議がありませんので、議第59号は原案のとおり可決しました。

続きまして、日程第3 議第60号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書案、を議題とします。饗庭教育総務部次長。

(饗庭教育総務部次長)

失礼いたします。10ページをご覧ください。議第60号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告書案について、ご説明申し上げます。

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和2年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施しましたので、その結果に関する報告書を別冊資料のとおり作成し、議会に報告するとともに、公表することについて、議決を求めるものでございます。

別冊資料の1ページをご覧ください。2. 令和2年度の点検評価の方針でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教育を取りまく環境にも大きな変化や影響がある中、これらに適宜対応しながら各事業を実施してまいりました。評価対象の33事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに段階評価が実施できたのは15事業であり、指標目標を上回って達成したAランクが7事業、概ね達成したBランクが8事業でございました。一方で、感染症の影響を受けた18事業は、成果指標で効果を十分に測ることができず、段階評価が困難でありますことから、コメントのみの評価としております。

なお、感染拡大防止の観点から中止、延期または縮小となった事業につきましても、工夫した点や今後の課題等を記載しているところでございます。

3. 点検評価の実施について、でございます。(2)の点検評価の目標でございますが、教育大綱の目標および教育の重点に即した施策」に着目して事業を実施しております。当該年度の事務事業の点検評価を踏まえ、事業の課題や今後の取組みの方向性を明らかにしております。(3)実施方法等でございますが、点

検評価シートにより、部長ヒアリングによる内部評価の後、外部評価ヒアリングを実施し、外部評価を実施していただきました。

2ページをご覧ください。外部評価は、学識経験を有する3名の外部評価委員を委嘱し、その意見等を事務点検評価シートに整理しております。日置氏、海老澤氏、竹脇氏の3名にお願いをしているところでございます。(4) 評価判定項目でございますが、a. 必要性、b. 目標達成度、c. 効率性、そして総合評価ランクとしております。繰り返しになりますが、Aランクが7事業、Bランクが8事業、コメントのみとしたものが18事業でございます。

3ページをご覧ください。4. 教育委員会の活動および運営状況でございます。(2) の教育委員会会議の開催状況につきましては、定例会が12回、臨時회가4回となっております。(3) 教育委員会会議での審議および協議状況報告でございますが、9の区分ごとに115件の審議および協議報告を行っております。

4ページをご覧ください。(4) その他の活動でございますが、教育委員協議会を12回開催しております。研修会、視察等については1回、3月24日の全国コミュニティ・スクール研究大会でございます。学校訪問および懇談会については1回、3月24日の地域学校協働活動推進員との懇談会でございます。各種会議、行事等への参加については、この表のとおりでございます。

5ページ、5. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う教育委員会の対応でございます。感染症の拡大が教育委員会の各事業に多大な影響を及ぼす中、感染症防止対策を講じながら実施可能な事業に取り組み、学校教育分野および社会教育分野では、感染症拡大防止にかかる措置を講じ、実施をしております。以下にその対応内容をまとめております。

(1) 学校教育分野における対応としまして、市内学校における学習の保障、そしてGIGAスクール構想の実現について記載しております。

6ページでございます。社会教育分野における対応につきましては、緊急事態宣言に伴います、社会教育施設の臨時の休館の対応や、感染症対策のため、スポーツイベントや様々な体験活動における対応等を記載しております。

7ページをご覧ください。6. 点検および評価結果として整理をしております。

続きまして、9ページをご覧ください。各事務事業点検評価シートにおきまして、33の事業を整理しております。事業の概要として、事業目的、取組み内容、新型コロナウイルス感染症への対応、課題等についてまとめ、外部評価委員における総合評価とコメントを記載しております。そして、この評価およびコメントを踏まえ、今後の取組みとして、この評価結果を各事業へ反映してまいりたいと考えております。

43ページをご覧ください。参考資料といたしまして、第1期の高島市教育大綱を記載しております。

説明は以上でございます。

(上原教育長)

ご意見、ご質問がございましたら、よろしく申し上げます。三矢委員。

(三矢委員)

失礼します。ICT教育機器の環境についてです。A評価をいただいております、外部評価のコメントについても、私も同感です。こちらにも、コロナ禍ということもあり、早くから色々な体制を整えていただき、努力していただいたことには感謝を申し上げるしかないのですが、高島市のICT教育については、これまでも、少し前から、大型テレビを備えたり、教育研究所を中心に研究発表をしたりして、今やICT教育は全国的に非常に大きな広がりとなって新しい教育として注目もされていますが、本市では、地道に、先を見据えた研究や取り組みをしてきていますし、いち早く取り組まれてきたことで、今日を迎えられているのではないかなと思います。

コロナ禍で学校訪問も実施できず、直接授業を拝見することはできなかったのですが、毎月の学校だより等を拝見し、冒頭の教育長のお話にもありましたように、どの学校においても、それぞれの取り組みの中で、非常に効果を上げておられることを大変嬉しく思います。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

(上原教育長)

饗庭学校教育課長。

(饗庭学校教育課長)

ただいま三矢委員より、ICT機器の整備および活用についてご意見を頂戴いたしました。現在、ICTを活用した教育活動につきましては、各学校によって取り組んでいるところでございます。教職員のスキルの部分や、子どもたちの活用面における工夫等について、まだまだ研究の余地もございますので、今後とも活用、それから教職員のスキルアップに努めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

(上原教育長)

ほかにございませんか。三矢委員。

(三矢委員)

通番4の相談事業についてです。カウンセラー、スーパーバイザー等の増員等、さらに充実した体制づくりが必要とコメントもいただいておりますが、現在スーパ

ーバイザーさんは市内で何人いらっしゃるのでしょうか。

(上原教育長)

饗庭学校教育課長。

(饗庭学校教育課長)

12ページの取組み内容の欄に示しておりますとおり、参与1人、相談員3人、臨床心理士1人、スーパーバイザー1人をごさいますて、スーパーバイザーの派遣については、必要に応じて1人の方をお願いしているところでございます。以上でございます。

(上原教育長)

三矢委員。

(三矢委員)

コメントにありますとおり、教育課題の多様化というように、色んなことで多様化という言葉が使われるようになりましたが、子どもたちの思い、保護者の思い、それぞれの生活スタイル等、教育課題の多様化については、色々な角度から見ていかなければなかなか難しい現状であると思っています。こういった相談事業というのは、難しいところもあるのですが、課題対応室の方ではきめ細かな指導、ご助言をいただいています。色々な課題を持ったお子さんについては、ピンポイントで丁寧に原因を探り、支援していくことが必要ですが、それと同時に、マクロ的に、集団としてその学年、そのクラスをどういうふうに育てていくのかということについても、こと集団においては同レベルで進めていかなければいけないのかなと思います。なぜかという、不登校にしても、県下、数が増えており、低年齢化もしている、コロナ禍との直接の因果関係は不明ですが、いずれにせよ増加傾向にあることは確かであり、本市もそういう傾向にあると思いますので、ピンポイントな支援と集団を育てることを大切にしていきたいなど。

地域学校協働活動の話にはなりますが、協働活動にもコーディネーターさんがいらっしゃいますが、あちらはあくまで協働活動に関するコーディネーターさんでありますし、色々な課題を解決していくときにそれらを統括するということは、コーディネーターさんのお仕事かもしれないのですが、そういった壁を越えていくことは難しいかなと思われる場面も見ていてあるように思いますので、色々な立場の方が、スクールカウンセラー、ソーシャルスクールワーカー、スーパーバイザーといらっしゃる中で、市内、色々なところを駆け回ってアドバイスやご指導をいただいているのはよくわかるのですが、コメントにもありますように、統括的な役割を担う立場の方が増員されれば、さらに組織的なケアや支援、学びがで

きていくのではないかと思います。

また、それぞれの地域で、子どもたちを全体的に、地域で見守っていける体制が大事ななど。保護者と子ども、学校の先生と子どもという関係のほかに、地域の人と子どもというのは、全く違った、非常に柔らかい観点で、皆で見守っていける、そんな雰囲気の中で集団を高めていく意識というのも大事ななどと思います。よろしく願います。

(上原教育長)

饗庭学校教育課長。

(饗庭学校教育課長)

学校については、チーム学校という体制で、集団であったり、子ども同士の関係性であったり、そのあたりのことについては関わっていただいている見立て等も参考にしながら予防的な指導・支援等にも取り組んでいるところでございます。色んなところで課題があり、支援を要する子どもについては、色んな関係機関、課題対応室も含めて、コーディネートする者を中心にアセスメントをして個別の支援に努めているところでございます。三矢委員のご意見にもありましたように、集団的な予防、それから個別的な支援も含めて、子どもたちにとってのよい支援になるように今後とも努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

(上原教育長)

ほかございますか。小多委員。

(小多委員)

意見です。通番11のマイスクール事業にありますが、今年もコロナ禍の関係で小学校の運動会が半日になったということで、よい点もあれば悪い点もあるという中で、保護者にとっては弁当が不要となり、朝早くから準備をする必要がなくなって学校に行きやすくなったという反面、地域の人々の参観ができなくなり、地域とのかかわりの減少しているのが実情ではないかなと。そのあたり、学校の行事、マイスクール事業の中でも、地域とのかかわりを気にかけて取り組んでいただきたいなと思います。もっと地域の人を、なにも学校の方に集まっていたら必要はありませんので、活動に引っぱり込むようなことも考えていけないのかなと思います。学校と地域とのつながりにおいては、コロナ禍によって障害が生じてきているように感じたので、そのあたりを今後考えてもらえるありがたいのかなと。学校の登下校についてはそれぞれスクールガードさんがついてくれているということもありますけれど、全般的な雰囲気の中で、隔たりが

できてきているように感じますので、そのあたりについて、学校のほうでも気をつけていただく必要があるのではないかなと思います。

(上原教育長)

饗庭学校教育課長。

(饗庭学校教育課長)

コロナ禍におきまして、感染症対策のために、行事や学習活動が非常に大きく制限されています。行事の計画も、宿泊、食事等の制限で、従来とは違うかたちで工夫して取り組んでいるところでございます。制限されている中でありますので、子どもたちの達成感や成就感、関わっていただく保護者や地域の方々の達成感、成就感も以前に比べれば小さくなっていることは否めないと感じております。今後、そのあたりの工夫については、学校の方でも行事、学習活動、校外活動を工夫し、子どもたちに大きな達成感を味わう機会をもたせたい、保護者、地域の方々にも大きな達成感をもっていただくことで繋がりも強くなっていくと考えますので、工夫してよい活動をつくりあげていくように努力してまいりたいと思います。

地域との繋がりにつきましては、学校運営協議会、地域学校協働活動本部等で、会議を進めていただいておりますので、そういう視点も持ちながら熟議を重ねていただけるよう学校には指導してまいりたいと考えております。以上でございます。

(上原教育長)

小川社会教育課長。

(小川社会教育課長)

報告書の中の24ページをご覧ください。こちらの方に、繋がり響き合う教育推進事業の評価を記載しております。委員が仰るように、昨年度の地域学校協働活動につきましては、コロナ禍の影響がございまして、中段の新型コロナウイルス感染症への対応に記載しておりますように、コロナ禍で子どもたちと地域の方が対面で交流する活動ができない状況でした。そういった中で、子どもたちも地域の方も、何ができるかを考えていただき、医療機関や介護施設で必要となる医療ガウンやマスク、フェイスシールド等を作成された学校もございまして、また、地域の方たちと対面での交流ができないため、配色サービスを受けておられる高齢者の方にメッセージカードを送り、そういったカードでの交流ということもやっていたいております。緊急事態宣言が解除になり、昨日も湖西中学校でふる

さとウォークがありましたが、地域の方が支援に入られて、徐々にではあります
が活動が再開しておりますので、感染状況を見ながら地域の方にも関わって
いただきたいと考えております。以上でございます。

(上原教育長)

私の方からも。今話題になっております、新型コロナウイルス感染症拡大に伴
いましての、学校と地域の関係について、以前、一生懸命近づけようというこ
とで、学校運営協議会をそれぞれ設置し、地域学校協働活動を推進してきたわけ
ですが、非常に大きな影響を受けているのは事実であります。やや、コロナ禍の収
束が、見えてきているのかは定かではないですが、いずれにしましてもアフター
コロナの体制をどうするかについて、今こそ学校運営協議会の方が主体となって
その後の構想をどうするか検討していただきたいなと思っているところでありま
すので、今、それぞれの学校区で動き始めているかと思いますが、今こそその
タイミングであろうかなと思っておりますので、それぞれの学校運営協議会には力を貸し
てほしいという思いを持っているところであります。

ほか、よろしいでしょうか。田邊委員。

(田邊委員)

また、11月に入ると国スポ・障スポの実行委員会等が開かれることになりま
すが、コメント等を拝見していますと、定例会の出席率が悪いのでまた参加率の
向上を目指してほしいとか、推進委員が高齢化になりつつあるので若年層の人材
確保、といったことが記載してありますが、現在の推進委員さんは来年に任期満
了となると思うのですが、新しい人たちがスポーツに関係した事業に関わって
いただくための人員確保の面や、次の役員改選の仕方についてはどう考えておられ
るかをお聞きします。

(上原教育長)

38ページの通番30番のスポーツ推進委員設置事業に関する質問ということ
ですね。

今後の、ということでもありますので、玉木市民スポーツ課長。

(玉木市民スポーツ課長)

ご質問のスポーツ推進委員さんについては、日頃から熱心に取り組んでいただ
き、地域のスポーツ振興には欠かせない存在であります。外部評価委員からの指
摘にありましたように、推進委員さんの高齢化であるとか出席率が悪いという中
で、新しい、若い人材の育成・確保につきましては、今後、地域の事情も踏まえ
つつ、もちろんご存じの方がいらっしゃるありがたいのですが、推進委員さん

からの紹介であるとか、そういった中でスポーツに関する意識を高めていただきまして、人材確保に努めてまいりたいと考えております。

(上原教育長)

三矢委員。

(三矢委員)

スポーツの組織的なことは詳しくは存じ上げないのですが、高島地域では、学区民会議の中で子どもの遊び教室、スポーツ教室等を計画するのですが、私共はプロではないので、遊び教室のときには、地域のスポーツ推進委員さんに来ていただき、学区民会議の行事ではありますが、一緒に入って子どもたちの遊びを補助してくださり、一緒に活動できると非常にありがたい存在です。若いからいいかという問題ではないと思うので、お年を召されても活躍してくださっている方はたくさんおられますし、年齢に関係なく、活躍の場を紹介したり研修したりといったかたちで人材確保に努めていただければと。単独で地域のスポーツ振興について活躍もしてくださるのですが、色んなところで繋がっていくというか、そういう場を提供したり、紹介したりするなど、皆で共有していく体制が大事なかなと思います。心安く子どもたちと一緒に遊んでくださる姿を見ると、私たちも一緒に活動させてもらう中でありがたいと思いますし、よろしくお伝えください。

(上原教育長)

ほかにございますか。三矢委員。

(三矢委員)

コロナ禍で活動が少なくなったというところで私も感じていたところですが、通番24の青少年教育一般事業のところですか。コロナ禍で色々な体験ができなかったというのは、それは確かにそうですが、アフターコロナの視点から、元に戻して前の活動をやろうというとなかなか難しいかもしれないので、そうではなく、子どもたちの自然活動、体験活動というのは大事なことだと思いますし、特に高島市の青少年活動は歴史があるというか、中学生まで育て、中学生リーダーが今度は青年リーダーとなってやってきてくれているとか、子どもたちに自然体験をさせておけばよいというような体験ではなく、リーダーを育てるという意味で、大人も関わっていく中で地域のリーダーが育っていくという、リーダー育成に関わって大きな役割を果たしてくれている活動であると思っています。今までの規模のようにニセコに行くというようなことはできないかもしれないけれど、市内で十分そういう活動が出来たりとか、自然に触れたり、体験するという子を

どもも大人も経験していく、ずっと継続していくということは、次のリーダーが育っていくことに繋がる大事な体験活動と思っておりますので、今後色々な形で工夫しながら、そのあたりの精神はしっかりと受け継いで事業を進めていただきたいと考えます。よろしく申し上げます。

(上原教育長)

小川社会教育課長。

(小川社会教育課長)

青少年教育一般事業につきましては、学校教育ではない、社会教育独自の異年齢の集団生活の中で社会性を身に付けたり、地域の良さを学んだりといったことで、効果の高い事業であると考えております。昨年度はよえもん道場等は、数回しかできませんでしたが、アフターコロナにおいては感染状況も踏まえながらですけれども、こういった体験活動も引き続きできるようにと考えております。

(上原教育長)

ほかにご意見、ご質問はございませんか。

ないようですので、異議なしということでよろしいですか。

(異議なし)

(上原教育長)

異議がありませんので、議第60号は原案のとおり可決しました。

次に、「5. 今後の日程」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局、上原教育総務課参事が内容説明)

(上原教育長)

以上で本日予定しておりました定例会の内容は、すべて終了しました。

これをもちまして本日の定例会を終了します。

定例会終了 午前10時19分